

# BUNDAI PERFORMANCE REPORT

2013



国立大学法人

大分大学

OITA UNIVERSITY

# 変化する、 そして 進化する。



大分大学は、平成15年10月に旧大分大学と旧大分医科大学が統合し、平成16年4月の国立大学独立行政法人化に伴い、国立大学法人大分大学として新しくスタートしました。現在、旦野原、挾間、王子の3つのキャンパスに、4つの学部、5つの研究科、附属学校園及び附属病院等を有しています。大分県に立地する唯一の国立大学として、教育、研究、医療、社会連携等を通して更なる地域社会の発展や国際貢献に取り組んでいる大分大学の情報をお届けします。

概要	大分大学の姿	03
教育	未来を拓く確かな力と高い志を育む教育	05
医療	患者本位の最良の医療	11
社会連携	地域に根ざした知の拠点	13
年間行事 アクセス	年間行事 アクセス	17 18

※本リーフレットの掲載データは、特別の記載がない限り、平成25年5月1日現在又は平成24年度のものです。

## 大分大学の成り立ち

大分における知の拠点として活動する大分大学。その成り立ちと今の姿をまとめました。

大分大学は4学部、5研究科のほか附属学校園、附属病院、学内共同教育研究施設等を有する総合大学です。

旧大分大学は、昭和24年に大分師範学校・大分青年師範学校・大分経済専門学校の統合により設立され、旧大分医科大学は昭和51年に設立されました。

平成15年10月、旧大分大学と旧大分医科大学が統合し、新大分大学が誕生しました。その半年後の平成16年4月、国立大学の法人化に伴い、現在の国立大学法人大分大学が誕生しました。



## 国立大学法人大分大学

学部	◎教育福祉科学部 ◎経済学部 ◎医学部 ◎工学部
大学院	◎教育学研究科 ◎経済学研究科 ◎医学系研究科 ◎工学研究科 ◎福祉社会科学部研究科
医学部 附属病院	◎28診療科 ◎中央診療施設 ◎特殊診療施設 ◎薬剤部 ◎看護部 ◎医療技術部
教育福祉科学部 附属学校園	◎附属幼稚園 ◎附属小学校 ◎附属中学校 ◎附属特別支援学校
学術情報拠点	◎図書館 ◎医学図書館 ◎情報基盤センター ◎医学情報センター
学内共同教育 研究施設等	◎全学研究推進機構 ◎産学官連携推進機構 ◎国際教育研究センター ◎福祉科学研究センター ◎高等教育開発センター ◎入学企画支援センター ◎保健管理センター
その他の組織	◎びあROOM ◎なかよし保育園 ◎男女共同参画推進室 ◎病児保育室
事務局	◎総務部 ◎研究・社会連携部 ◎財務部 ◎学生支援部 ◎医学・病院事務部 ◎教育福祉科学部事務部 ◎経済学部事務部 ◎工学部事務部 ◎業務支援室
監査室	



■ 学生数 (総数: 5,755人)

【学部】

学部	男女別		総数	県内県外比率(%)	
	男	女		県内	県外
教育福祉科学部	327	740	1,067	46	54
経済学部	797	551	1,348	32	68
医学部	440	465	905	39	61
工学部	1,502	218	1,720	41	59
合計	3,066	1,974	5,040	41	59

【大学院】

研究科	研究科	男女別		総数
		男	女	
教育学研究科	修士課程	41	44	85
	博士前期課程	26	22	48
経済学研究科	博士後期課程	9	2	11
	修士課程	19	33	52
医学系研究科	博士課程	95	31	126
	博士前期課程	296	31	327
工学研究科	博士後期課程	33	2	35
	修士課程	9	22	31
福祉社会科学部	修士課程	9	22	31
合計		528	187	715

■ 職員数 (総数: 1,775人)

◎教員1人あたりの学部学生数は約8.6人

教員	職名	男	女	計
		教授	159 (2)	17 (0)
准教授	117 (0)	21 (1)	138 (1)	
講師	46 (2)	12 (0)	58 (2)	
助教	161 (2)	44 (0)	205 (2)	
助手	1 (0)	7 (0)	8 (0)	
計		484 (6)	101 (1)	585 (7)
その他の職員	教務職員	3	4	7
	附属学校教員	50	35	85
	事務・技術系職員	226	101	327
	技能系職員	12	4	16
	医療系職員	75	76	151
	看護系職員	50	554	604
計		416	774	1,190
合計		900	875	1,775

※( )内は外国人で内数

■ 建物・土地

◎敷地面積は福岡ヤフオク!ドーム約15個分、大銀ドーム約20個分

区分	土地 (㎡)	建物 (㎡)
旦野原キャンパス (教育福祉科学部、経済学部、工学部)	646,253	92,392
挾間キャンパス (医学部、医学部附属病院等)	254,500	115,197
王子キャンパス (教育福祉科学部附属校園(幼・小・中・特別支援)等)	74,009	19,123
その他 (職員宿舎、鶴見臨海研修所、国際交流会館等)	60,726	22,773
合計	1,035,488	249,485

■ 学術情報拠点

図書館 (旦野原キャンパス)・医学図書館 (挾間キャンパス)

蔵書数

図書館、医学図書館を合わせて約79.7万冊(内洋書約22.9万冊)年間雑誌受入数2,714タイトル(内洋雑誌567タイトル)電子ジャーナル約5,800タイトルを揃えています。

開館時間

図書館 (旦野原キャンパス) …………… 8:30 ~ 22:00  
医学図書館 (挾間キャンパス) …………… 9:00 ~ 20:00

※挾間キャンパスにおいては、磁気カード式の学生証(身分証明書)と暗証番号により、時間外を含めた24時間無人入退館システムを導入しています。

入館者数

平成24年度の入館者数は233,185人、このうち一般利用者数は12,792人となっています。

※図書館(旦野原キャンパス)の入館者数はH24.10~H25.3実績

情報基盤センター・医学情報センター

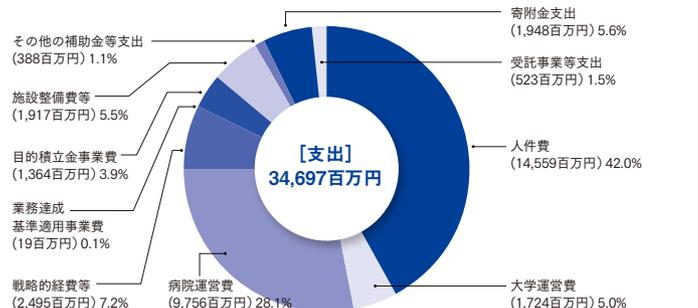
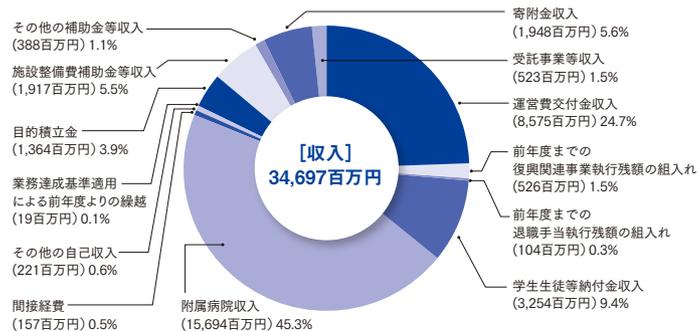
【(設備)情報教育システム】

拠点	パソコン台数					
	情報基盤センター			教育福祉科学部		
旦野原キャンパス 情報基盤センター	第1実習室	第2実習室	第3実習室	第1情報システム室	第2情報システム室	情報処理第1実習室
	71	61	10	33	24	51
挾間キャンパス 医学情報センター	情報処理実習室	自己学習室	チュートリアル室	看護学科実習室	臨床講堂ホール	大学院生室
	120	60	26	16	20	10

■ 平成25年度予算額

※百万円未満の端数を切り捨てし表示している。

◎大分大学の予算規模は、大分市(人口477,693人 H25.4月末日現在/大分市HPより)の約5分の1。





# 教育

地域の拠点大学として、学生の成長を目指す体系的な教育を行い、幅広く高度な専門知識と豊かな教養、高い倫理観と進取の気概に満ちた人材を育成します。

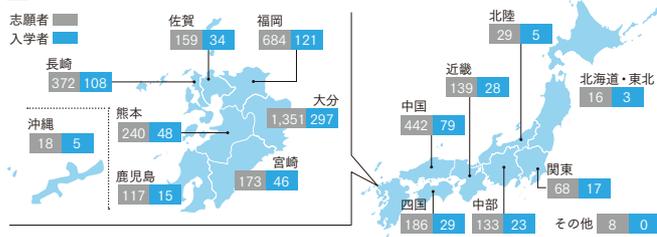
## 平成25年度入学志願・入学状況

- 学部入学者 **1,123名**  
(編入学、国費・政府派遣留学生を除く)
- 志願倍率 **4.5倍** (志願者数/入学定員)
- 一般入試大分県出身入学者 **34.6%**

一般入試・推薦入試・AO入試(経済学部・医学部)等の様々な入試制度を実施しています。



## 地区別志願者・入学者 (一般入試)



## 入試広報活動

様々な学生募集活動を実施しています。

- オープンキャンパス：**3,707名**が参加
- 進学説明会：**65回**参加
- キャンパス大使：**42名**を出身高校へ派遣  
※キャンパス大使＝本学在学生の母校訪問による本学紹介
- 高校等訪問：**8校**



学長による進学説明会 24年度オープンキャンパス



公開ホームページ・携帯電話から資料(大学案内、入学者選抜要項及び募集要項等)を請求することができます。

<http://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/05shiryo.html>

◀資料請求(携帯電話用)

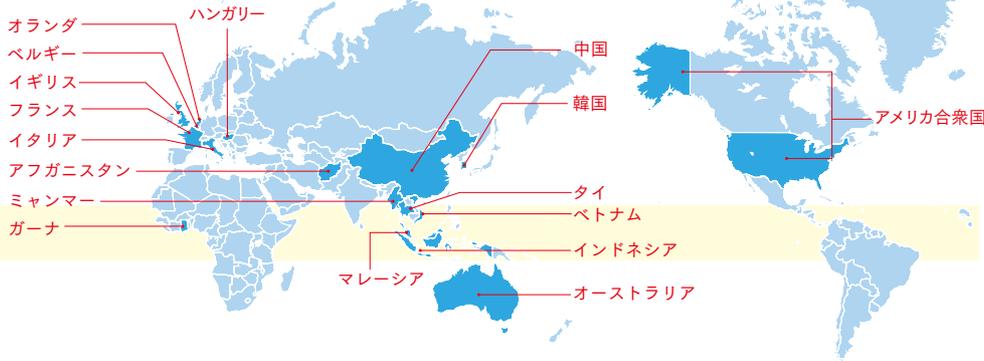
## 国際交流

- 海外**20**の国と地域、**70**機関との交流協定を締結
- 留学生数：**17**の国と地域から**143名**
- 大分大学から海外の大学への派遣留学生総数：**104名**(2008～2012年度)

[主な留学先]

韓国・中国・イギリス・オランダ・ドイツ  
アメリカ合衆国・フランス

### [留学生の出身国・地域]



## 奨学融資・奨学金及び授業料免除・入学料免除

地元金融機関と連携した「大分大学入学料・授業料奨学融資制度」を整備。

※融資を受けた入学料や授業料の在学中の利子を大学が負担。

平成20年度	22名	5,104,200円
平成21年度	12名	3,080,850円
平成22年度	5名	1,339,500円
平成23年度	16名	4,730,550円
平成24年度	14名	2,841,150円



平成23年度に大分大学学生支援特別給付奨学金制度を創設し、経済的な支援を行っています(平成25年5月1日時点で受給者はいません)。

[平成24年度総額] ○入学料免除の総額：**465万円** ○授業料免除の総額：**2億3,354万円**

## 学生相談等の対応

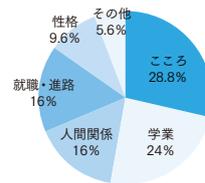
学生の健康に係わる相談には、各キャンパスの保健管理センターを中心に対応しています。平成24年度の相談件数は下記のとおりです(事後措置及び予防接種は除く)。

巨野原キャンパス **3,623件** 挾間キャンパス **2,380件**

### [キャンパスライフなんでも相談室]

「キャンパスライフなんでも相談室」は全国の国公立大学で初めてソーシャルワーカーを配置し、学生への初期対応を強化しています。

○利用状況 平成24年度相談件数：**56件**



### [びあROOM]

びあROOMは、平成20～23年度に文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に採択された「不登校傾向の学生へのアウトリーチ型支援」事業として実績を積み重ね、平成24年度以降も継続して勉学面での困難や学生生活上の迷いがある学生に対して相談に応じています。これまでの学生相談・学生支援の体制を更に充実させた取組であり、学生だけではなく保護者の相談にも応じています。

○利用状況 平成24年度相談件数：**2,462件**

### [学生定期健康診断受診状況]

巨野原キャンパス 学部 **3,267名(84.4%)** 大学院 **368名(73.6%)**  
挾間キャンパス 学部 **862名(99.8%)** 大学院 **109名(71.0%)**

## 単位互換

8大学等との間で単位互換に ○本学学生による協定校での単位修得者数：**9名**  
関する協定を結んでいます。 ○協定校学生による本学での単位修得者数：**19名**

### 協定校

放送大学/大分県立看護科学大学/大分県立芸術文化短期大学/大分工業高等専門学校  
立命館アジア太平洋大学/別府大学/日本文理大学/別府大学短期大学部(協定締結順)

## 学生表彰

学生表彰規程を整備し、優秀な学業成績・学術研究活動・課外活動・社会活動等を対象に、本学に在学する者又は本学学生を構成員とする団体を表彰しています。

### [平成24年度実績]

- ◎学業成績優秀者：10名
- ◎学術研究活動顕著業績者：2名
- ◎課外活動優秀成績者1名と1団体を表彰

## インターンシップ

◎学部学生85名、大学院生11名が参加

学生の専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を一定期間行うインターンシップを全学で奨励しています。また、工学部においては、産学官連携で長期インターンシップ(4週間程度)を行っています。

## 国家試験

医師・看護師・保健師・社会福祉士・精神保健福祉士試験において、**全国平均を上回る合格率！(平成24年度試験)**

既卒者への支援策として国家試験模試の案内、国家試験対策講義(学内実施)の案内等を行っています。

	合格率	全国平均
医師	94.6%	93.1%
看護師	100.0%	94.1%
保健師	100.0%	97.5%
社会福祉士	86.2%	18.8%
精神保健福祉士	87.5%	56.9%

## 卒業生の進路

◎学部卒業生の就職率<sup>※</sup>94.8% (平成24年度)

◎卒業生の68%が大分・九州地区で活躍中

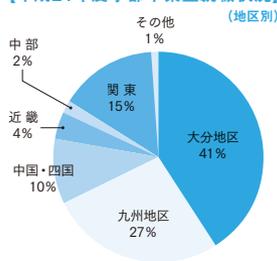
就職率の推移は下表のとおりです。

※就職率は就職希望者に対する就職者の割合です。

### [就職率]



### [平成24年度学部卒業生就職状況]



## 各学部の主な就職先

### 教育福祉科学部

#### [学校教育課程]

小学校、中学校、高校、特別支援学校、幼稚園、臼杵市役所、日田市役所、伊予銀行 他

#### [情報社会文化課程]

(社会文化コース)  
大分県庁、NHK大分放送局、東横イン、豊後大野市役所、大分東郵便局 他  
(情報教育コース)  
ヤマト運輸、西日本鉄道、グランドハイアット福岡、大分県農業協同組合 他  
(総合表現コース)  
日本生命保険、医療法人藤本育成会大分こども病院、再春館製薬所 他

#### [人間福祉科学課程]

(社会福祉コース)  
医療・社会福祉法人(別府中央病院、博愛病院)、大分県社会福祉協議会、大分市役所 他  
(心理健康福祉コース)  
大分県警察、東京海上日動火災保険、鳥取市役所、特定医療法人明徳会佐藤第一病院 他  
(生活環境福祉コース)  
大分ヤクルト販売、豊和銀行、新日鐵住金、JA共済連熊本本部、あわしま堂 他

### 経済学部

大分銀行、大分みらい信用金庫、日本政策金融公庫、三井住友信託銀行、野村證券、明治安田生命保険、大林組、九電工、日立製作所、DNP西日本、ダイハツ九州、NTTドコモ、ゼンリン、大分合同新聞社、三菱化学物流、ANAエアサービス、東京国税局、佐賀県庁、大分市役所 他

### 医学部

#### [医学科]

大分大学医学部附属病院研修医、他病院研修医

#### [看護学科]

大分大学医学部附属病院、大分赤十字病院、大分岡病院、小倉記念病院、福岡大学病院、市町村(保健師) 他

### 工学部

※工学部は、卒業生の約半数が大学院へ進学するため、院進後の就職先も記載

#### [機械・エネルギーシステム工学科・専攻]

学部 三菱自動車エンジニアリング、大分キャンノ、大分キャンノマテリアル、東京エレクトロン九州、日本製薬、第一精工、デルタ工業、愛知製鋼、住友化学、西日本プラント工業 他

院 いすゞ中央研究所、スズキ、アイシンAW、ダイハツ九州、三菱電機、京セラ、三井造船、三菱重工メカトロシステムズ、東芝プラントシステム、ミツミ電機、井関農機 他

#### [電気電子工学科・専攻]

学部 NTTファシリティーズ、三菱電機エンジニアリング、JFE電制、スズキ、西川計測、デルタ工業、王子製紙、大分キャンノ、九州マツダ、三浦工業、大分市役所 他

院 九州電力、関西電力、三菱電機、オムロン、東京エレクトロン九州、住友機械工業、京セラ、日鉄エレックス、九州通信ネットワーク、富士通テレコムネットワークス 他

#### [知能情報システム工学科・専攻]

学部 アルファシステムズ、シティアスコム、東京エレクトロン九州、JR九州システムソリューションズ、九州東芝エンジニアリング、大分キャンノ、大分県庁、大分県警 他

院 三菱電機、三菱電機情報ネットワーク、キャンノ、NTTコミュニケーションズ、東芝ソリューション、テレビ西日本、JR九州、九電ビジネスソリューションズ 他

#### [応用化学科・専攻]

学部 フンドーキン醤油、富士基醤油、大分キャンノ、住友化学、松尾機器産業、伊予銀行、旭国際テクネイオン、伊藤忠エネクス 他

院 イサハヤ電子、ジェイデバイス、霧島酒造、日揮触媒化成、共栄社化学、パブコック日立、西川計測、SECカーボン 他

#### [福祉環境工学科・専攻/建築工学専攻]

(建築コース/建設工学専攻)

学部 長谷工コーポレーション、佐伯建設、一条工務店、エス・バイ・エル、アイネス、新菱冷熱工業、JR西日本不動産開発、松山市役所 他

院 清水建設、大林組、東急建設、奥村組、JFEシビル、旭化成ホームズ、積水ハウス、朝日工業社、梓設計、東九州設計工務、兵庫県庁 他

(メカトロニクスコース)

学部 ミツミ電機、上野精機、DNP西日本、STKテクノロジー、東京機材工業、大分市役所、西部電気工業、豊洋精工、キセキ九州、メイテック、サイズ 他

院 NTN、スズキ、京セラ、三井化学、アドソフト日進、東芝メディカルシステム、柳井電機工業、大分キャンノ、ミツミ電機、有菌製作所、地域科学研究所、豊洋精工 他

## FD活動

教育・研究を含めた全ての教員の資質・能力向上の為に様々なFD活動を行っています。

- ◎高等教育開発センターによるFDワークショップ等参加者77名
- ◎各学部等による部局別FDも実施しています。

# 研究

基盤研究と学際領域研究を強化し、これらの緊密な連携による地域の「知の拠点」を形成するとともに、優れた研究者の育成とその活性化を図り、国際視野で評価される重点領域研究を推進します。

## ■ 概要要求 (大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実) 事業の採択状況

◎平成25年度採択件数 (2件) ..... 121百万円

### 【事業名】

- 「スーパー抗体酵素」による画期的な医薬品の創製  
—C型肝炎やインフルエンザの制圧に向けて— ..... 63百万円
- アカデミア主導の産学連携による  
新しいがん分子標的薬開発拠点の形成 ..... 58百万円

## ■ 外部資金の獲得状況

### 【外部資金で獲得した主な事業名】

■ 科学研究費補助金及び科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) の採択状況

◎平成25年度採択件数 (新規採択+継続分) (268件) ..... 325百万円 (直接経費のみ記載)

- 基盤研究 (A) (2件) ..... 12,600千円
- 若手研究 (A) (1件) ..... 8,500千円
- 基盤研究 (B) (10件) ..... 37,400千円
- 若手研究 (B) (69件) ..... 70,300千円
- 基盤研究 (C) (159件) ..... 175,400千円
- 奨励研究 (10件) ..... 5,000千円
- 挑戦的萌芽研究 (17件) ..... 16,300千円

■ 厚生労働科学研究費補助金 (厚生労働省) の採択状況 (直接経費のみ記載)

◎がん臨床研究事業 (1件) ..... 20百万円

◎循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 (1件) ..... 7.5百万円

■ 環境研究総合推進費 (環境省) の採択状況

◎環境研究総合推進費補助金・廃棄物材の次世代電池材料への  
ゼロエミッション利用技術の開発 (1件) ..... 5百万円 (直接経費のみ記載)

■ 共同研究費、受託研究費、受託事業及び寄附金の受入状況

### 【平成24年度受入件数・金額】

- 受託研究 (一般) (67件) ..... 172,731千円
- 寄附金 (1,026件) ..... 636,997千円
- 共同研究 (107件) ..... 75,302千円
- 受託研究 (治験) (201件) ..... 70,076千円

## ■ 内部資金の投資

■ 平成24年度学長裁量経費公募事業採択状況

◎研究推進支援プログラム (14件) ..... 66,658千円

- 難治性卵巣癌に対する新規治療薬の開発 ..... 10,000千円
- 原因不明脳炎の原因特定とボカウイルス脳炎の流行調査 ..... 9,984千円
- 大分大学医学部認知症研究実施体制の構築と推進  
(認知症研究センター構想) ..... 8,800千円
- マイクロRNAの異常発現を標的とした新規胃癌治療法の開発 ..... 6,715千円



◎若手研究者萌芽研究支援プログラム (7件) ..... 7,513千円

- PET製剤における安全性と有効性の細胞生物学的評価 ..... 2,000千円
- 空間疫学による緊急災害時における感染症対策モデル構築へ向けて ..... 1,393千円
- 沖縄におけるピロリ菌のルーツを探る事業 ..... 1,000千円
- うつ病におけるレーザー光照射研究 ..... 1,000千円

◎教育研究診療設備整備支援プログラム

- X線回折装置 (XRD) ..... 9,600千円
- 電子顕微鏡システム (卓上型 元素分析アタッチメント付き) ..... 6,400千円
- パルスフィールド電気泳動 ..... 4,544千円

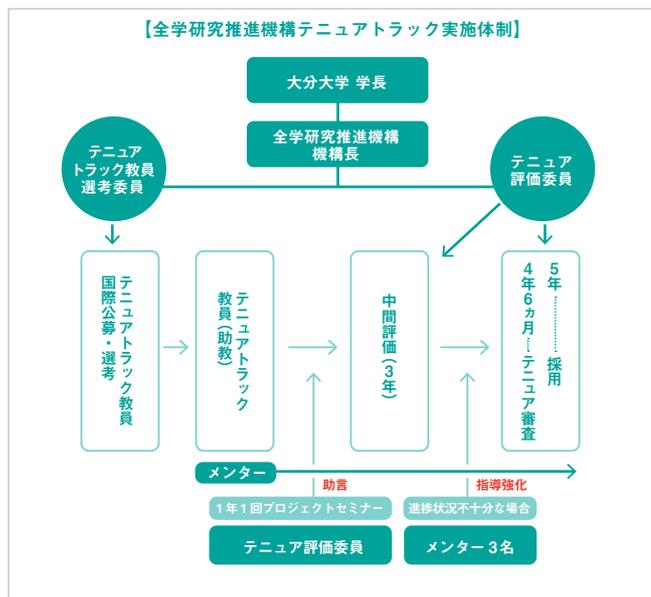
\*教育研究診療設備整備支援プログラムのうち、主に研究目的の設備についてのみ記載しています。

◎重点領域研究推進プログラム

- 全学研究推進機構主導による本学重点領域研究推進  
(特に重点4領域: 環境、福祉、生命、複合新領域)  
に係る大型プロジェクト等の推進 ..... 37,012千円

## ■ 平成23年度科学技術人材育成費補助事業 「テニュアトラック普及・定着事業 (機関選抜型)」 事業採択

若手研究者が自立して研究できる環境の整備を促進するため、テニュアトラック制 (公正で透明性の高い選抜により採用された若手研究者が厳正な審査を経てより安定的な職を得る前に、任期付きの雇用形態で自立した研究者としての経験を積むことができる仕組み) に基づき、若手研究者に競争的環境の中で自立と活躍の機会を与える仕組みの導入を図る「テニュアトラック普及・定着事業」に採択されました。事業年度は平成23年度から平成27年度までの5年間で、平成24年1月に国際公募により1名のテニュアトラック教員 (助教) を採用しました。





## 医療

大分大学医学部附属病院は、「患者本位の最良の医療」を基本理念として、地域の中核病院としての高度医療を通して先進的な医療技術の開発に努め、倫理観豊かな医療人を育成し、地域の医療・福祉の向上に貢献しており、平成23年10月に開院30周年を迎えました。

### ■ 附属病院の概要

診療科	28の臓器別診療体制
医師	約400人
医療従事者	約1,220人
病床数	618床
1日平均外来患者数	1,030.8人
平均入院患者数	503.3人
1年間の外来患者数	約253,000人
入院患者数	約184,000人

◎来院患者数は約437,000人で、大分県民の約3人に1人が1年間に1回来院したことになります。

(大分県の人口1,178,775人/平成25年4月1日現在/大分県HPより)

※平成22年から7年かけて病院を再整備(新病棟建設、新外来棟増築、西病棟と東病棟改築、中央診療棟改築、外来棟増改築、救命救急センター棟及びPET検査棟新設)し、より一層快適な病院になる予定です。現在までにPET検査棟が平成23年3月、救命救急センター棟が平成24年9月、新病棟が平成24年12月に完成し、移転を終わらせ稼働しています。



### ■ 卒後臨床研修教育

卒後臨床研修センターを設置し、初期臨床研修では基本的な診療能力の修得、後期研修では幅広い知識と技術を有する専門医の養成を行っています。平成22年度には、スキルスラボセンターを設置し、安全で高度な医療技術の習得を図っています。



研修医学習会

### 【初期研修医受入状況】

	募集定員	応募者数	マッチ数	受入数
平成22年度	64	84	44	38
平成23年度	64	71	44	34
平成24年度	64	70	30	25
平成25年度	61	54	29	26

### 【後期研修医受入状況】

	受入数
平成22年度	40 (30)
平成23年度	31 (25)
平成24年度	41 (31)
平成25年度	37 (30)

( )は本院初期研修医数

### ■ 「最も頼りがいのある病院」を目指して

各診療科の協力のもと、全ての専門分野の救急患者を24時間体制で受け入れています。

- ◎新型救命救急センター(平成20年5月指定)
- ◎肝炎患診療連携拠点病院(平成20年4月指定)
- ◎大分県がん診療連携拠点病院(平成20年2月指定)
- ◎エイズ治療の中核病院(平成19年4月指定)
- ◎内科領域及び外科領域の診療科を臓器別診療体制に整備(平成17年1月)



屋上ヘリポートを設置した救命救急センター棟

### ■ 先進医療承認状況

平成24年度	◎難治性眼疾患に対する羊膜移植術	◎神経症状を呈する放射線壊死に対する核医学診断及びペバシズマブ静脈内投与療法
平成23年度	◎自家液体窒素処理骨移植	◎抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査
平成21年度	◎腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	◎硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療

### Column

#### スターバックスのあるキャンパス

人気のスターバックスコーヒーが、大分大学の扶間キャンパスにあるのをご存知ですか? ゆったりとした空間でつくろぎながらコーヒーブレイク。研究や仕事の合間に、扶間キャンパスのスタバはオススメです。



### 地域的高度医療の拠点～大分県の医療をリード～

#### ■ 内視鏡手術支援用ロボット「ダヴィンチ」を導入(平成24年12月)

腎臓外科・泌尿器科では「ダヴィンチ」を導入し、平成24年12月より前立腺癌のロボット手術を始めました。ダヴィンチは3本の腕と10倍まで拡大できる3次元内視鏡を備えており、さらに人間の手の震えやブレを伝えない仕組みにより、従来の開腹手術や腹腔鏡手術では不可能な繊細な手術が可能です。現在、ダヴィンチによる前立腺癌手術が医療保険適用されていますが、今後は他の手術についても保険適用が期待され、医療の発展に貢献出来るものと期待されています。

#### ■ 新救命救急センター稼働(平成24年10月)

大分県より新型救命救急センターの指定を受け、外来部門に加え10床の病床を備えて、平成20年5月より稼働しています。地域住民、救急隊と連携した病院前救護体制や災害医療にも貢献しています。また、平成24年10月稼働の新救命救急センターは、病床数24床として運用し、稼働と同時にドクターヘリを導入して、大分県内に迅速な救急医療・高度医療の提供を行っています。

#### ■ 18F-FDG-PET 薬剤によるがんの保険診療開始(平成23年9月)

陽電子放出断層撮影(PET検査)は、陽電子放出核種(18Fなど)で標識された薬剤を用いた核医学画像診断法です。フルオロデオキシグルコース(FDG)はブドウ糖の類似物質であり、がん細胞でより取り込まれます。この性質を利用し、18Fで標識したFDGの動態から、がんのサイズを調べる事ができます。この方法により、がんの大きさを調べる事ができます。

#### ■ ドクターカー運用開始(平成22年4月) / ドクターヘリ運用開始(平成24年10月)

地域住民の死亡率・社会復帰率向上のため、緊急車両ドクターカーと救急車タイプの搬送車(平成23年9月)を導入しました。また、新救命救急センター稼働(平成24年10月)と同時にドクターヘリを導入して消防や医師、あるいは県知事からの出動要請を受け、救命処置等が必要な重篤患者が発生した救急現場や救急現場から医療機関への搬送途上、救命救急センターの医師が出動して、早期診断治療を行っています。



#### ■ 病院機能評価 ver.6.0 の認定更新(平成21年12月)

(財)日本医療機能評価機構による第三者評価である病院機能評価ver.6.0を受審し、更新が認定されました。客観的な立場から評価を受けることにより、質の高い医療サービスを提供し信頼性の向上を図ることを目的としています。認定期間は、平成21年8月23日から平成26年8月22日までの5年間です。

#### ■ 「大分県重症難病患者医療ネットワーク拠点病院」に指定(平成21年4月)

大分県より指定を受け、大分県並びに準拠点病院(大分県立病院、西別府病院)、基幹協力病院、一般協力病院と連携し、ネットワークの充実に貢献しています。

#### ■ 臨床試験専用病床(CTU: Clinical Trial Unit) 設置(平成20年4月)

国立大学法人として初めて早期臨床試験実施を可能にする画期的な施設を病棟内に設置しました。

#### ■ 「大分県がん診療連携拠点病院」に指定(平成20年2月)

本院が有するCT、MRI、核医学、上部消化管内視鏡、心臓超音波の各検査による高度医療情報を地域医療機関に速やかに提供することを目的に開設しました。また、平成24年度に検査項目を追加し、検査外来の充実や連携強化に努めています。

#### ■ 腫瘍センター設置(平成19年10月)

大分県のがん医療水準の向上及びその推進に寄与することを目的にしています。

#### ■ 治験中核病院に指定(平成19年7月)

厚生労働大臣より治験中核病院(全国10施設)に選定されました。

#### ■ 検査予約外来を開設(平成18年7月)

本院が有するCT、MRI、核医学、上部消化管内視鏡、心臓超音波の各検査による高度医療情報を地域医療機関に速やかに提供することを目的に開設しました。また、平成24年度に検査項目を追加し、検査外来の充実や連携強化に努めています。

# 社会連携



## 社会連携とは

地域社会の課題解決や活性化を目指し、大学の知的コンテンツを利用して行う活動のことです。大分大学は地域の拠点大学として、産学官連携推進機構が中心となって大学と行政・産業界等との交流活動、大学間連携活動などを積極的に推進しています。

## 産学官連携推進機構の設置

産学官連携推進機構は、前身組織であるイノベーション機構の中心組織であった「地域共同研究センター」「ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー」「知的財産本部」の役割を引き継ぐ組織として、平成23年4月1日に設置されました。

この機構は、「産学官連携部門」「知的財産部門」の2部門から構成され、部門間における密接な業務連携を図るとともに、学内外との連携業務に対するワンストップ・サービスを提供します。また、産学官連携部門に「工学系連携」「医学系連携」「地域連携」の各産学官連携コーディネーターを配置し、コーディネート案件に対して特許化・技術移転まで一貫して関わることにより、産学官連携活動と知的財産活動との連携を強化した体制としています。

### 【各部門の業務内容】

産学官連携部門	知的財産部門
<ul style="list-style-type: none"> <li>●技術相談</li> <li>●共同研究・受託研究支援</li> <li>●自治体との連携事業支援</li> <li>●シーズ集等の学術情報提供</li> <li>●産学交流会・研究発表会等の開催</li> <li>●人材育成事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知的財産の創出・取得・管理・活用</li> <li>●技術移転</li> <li>●起業相談</li> <li>●利益相反</li> <li>●安全保障輸出管理</li> <li>●人材育成事業</li> </ul>

- 両部門の共通業務
1. 機構の将来構想
  2. 機構の中期目標・中期計画、事業評価
  3. 機構に関連する概要要求等、各種予算要求
  4. 社会貢献事業、機構に関連する課題のGP等の各種事業の調整・対応
  5. 国内外の研究動向及び社会的要請に関する情報の収集及び提供
  6. 各種報告書の刊行

## 産学官連携活動

### 【行政との連携（包括協力協定）】

大分県下全ての自治体（大分県及び14市3町1村）と相互協力協定を締結し、大学に蓄積された知を総合的・継続的に活用し、各自治体が抱える諸課題の解決に取り組んでいます。実施した主な協力事業としては、屋外彫刻再生業務（大分市）、湯けむり景観保存事業（別府市）、白杵市コミュニティビジョン策定研究事業（白杵市）などがあります。

### 【企業との連携】

県下6企業等（1企業+5金融機関）との連携により、大分県経済の活性化に寄与しています。

### 連携企業名

- 株式会社大分銀行
- 株式会社豊和銀行
- 株式会社トキハ
- 大分信用金庫
- 大分みらい信用金庫
- 日本政策金融公庫大分支店

大分県及び宮崎県の産学官で構成する「東九州地域医療産業拠点構想研究会」において策定した「東九州地域医療産業拠点構想—メディカルバレー構想」に参画し、1) 研究開発の拠点づくり 2) 医療技術人材育成の拠点づくり 3) 血液・血管に関する医療拠点づくり 4) 医療機器産業の拠点づくりを積極的に推進します。

## 地域社会への還元・地域社会との交流

本学では、大学開放事業の一環としてJr.サイエンス事業を実施しています。この事業は、次世代を担う子どもたちの科学技術やものづくりへの興味関心を育み、成長を促すことを目的としています。平成24年度は、「夏休み子ども造形教室」「夏休み子どもサイエンス2012」「親と子の大学キャンパス自然観察会」など13事業を実施し、多くの小・中・高校生、保護者が参加しました。その他にも「大分大学開放イベント」の開催、大分市の「おおいた市民おどりの祭典」への参加等、交流事業を行っています。



## 大分高等教育協議会の設置 ~大学間連携による地域貢献の推進~

大分県内の9機関（大分大学、県立芸術文化短期大学、日本文理大学、別府大学、別府大学短期大学部、別府清部学園短期大学、立命館アジア太平洋大学、大分工業高等専門学校、放送大学 大分学習センター）が連携、また、これまで個別に活動してきた「地域連携研究コンソーシアム大分」と「とよのまなびコンソーシアムおおいた」が連携し、両コンソーシアムを構成組織とする「大分高等教育協議会」を平成23年5月24日に設置しました。

本協議会は、留学生支援組織である「NPO法人大学コンソーシアムおおいた」とも連携することにより、「研究支援」「教育支援」「留学生支援」の各活動において地域高等教育機関が一体となり、地域における高度人材養成及び地域の発展に貢献することを目指しています。

### 【地域連携研究コンソーシアム大分】

地域連携研究コンソーシアム大分では、単独では解決が難しく、複数の機関により取り組むことが効果的と判断された地域の諸課題について、関連する専門分野の研究者が結集して解決を図り、地域の活性化に寄与しています。また、大分県産業科学技術センターとの共催で、県内の各大学・高等専等有する特定技術分野に係る研究成果についての知見を合同かつ集中的に、毎年発表しています。これにより、当該技術分野に関連する県内中小企業の技術導入や共同研究等を誘発し、新たな事業展開を図っています。

### ◎平成24年度合同研究成果発表会

分野	発表件数	参加者数
第1回 食品・健康関連	5件	65名
第2回 地域資源利用・製造技術関連	6件	32名
第3回 データ処理・解析・システム関連	6件	36名

### 【とよのまなびコンソーシアムおおいた】

とよのまなびコンソーシアムおおいたでは、県民、県内教育機関、行政などの新たなネットワークを基に、共通教育事業や生涯学習支援事業などを推進します。平成24年度は公開講座で33の講座を開講、404名が受講し、公開授業で15の講義を開講、66名が受講しました。実施した講座は、「豊の国学」「多文化共生社会のために」などがあります。



## 新商品の創出

地域産業界との交流・連携を進めるために、共同研究を行っています。これまで大分大学が開発に関与した新商品は21品目に上ります。



麦酔 豊のたちばな 空気清浄機 太陽とハチミツのリキュール

## 知的財産の創造

知的財産の創造に適した環境を整備し、知的財産の蓄積・管理を行っています。  
大学が所有する特許は60件あります。その内訳は下記のとおりです。

【大分大学保有特許リスト】	
発明の名称	特許番号
下肢ストレッチ装置	特許第4022632号
接地点推定装置、接地点推定方法、動線表示システム及びサーバ	特許第4214291号
可変剛性動吸振装置	特許第4257432号
透過電子顕微鏡観察用試料の電子染色法	特許第4292296号
スキャン攻撃不正侵入防御装置	特許第4304249号
大気圧コロナ放電発生装置	特許第4304342号
長尺緊締体の締バックルの製造方法	特許第4355788号
全視野光刺激装置	特許第4362590号
海洋ハイブリッド人工魚礁	特許第4362602号
レーザーアブレーション成膜装置	特許第4370408号
高親水性高分子による組織包埋方法	特許第4374435号
直流電源制御装置	特許第4378530号
光刺激網膜検診方法及び光刺激網膜検診装置	特許第4411435号
多相式のスイッチングコンバータとその制御方法	特許第4427667号
ベルト長さ調整具	特許第4437229号
DC-DCコンバータ	特許第4465472号
水素製造用触媒	特許第4465478号
エレクトロクロミックフィルムとその製造方法及びエレクトロクロミックフィルム表示装置	特許第4474554号
永久磁石可動電機	特許第4474547号
永久磁石回転電機	特許第4482708号
炭化水素リフォーミング用触媒および用いた合成ガスの製法	特許第4496346号
タッピングダクタ降圧形コンバータ	特許第4543174号
非絶縁形コンバータ	特許第4552015号
葉面散布剤とその製造方法	特許第4560723号
植物体内の残留硝酸低減用葉面散布剤	特許第4565238号
生ゴミ発酵処理装置	特許第4571659号
金属及び又は金属酸化物-炭素複合体とこれによる触媒ならびにこれを用いたナノカーボン類の製造方法及びナノカーボン類	特許第4590643号
直接熱供給型炭化水素改質触媒の製造方法	特許第4608659号
時間的に連続する2枚の胸部X線画像からの経時変化検出のためのサブトラクション方法	特許第4613317号
胸部X線画像からのリブケイジ境界検出方法	特許第4639338号
炭化水素リフォーミング用触媒及びこれを用いた合成ガスの製法	特許第4639247号
血小板凝集抑制剤	特許第4649632号

ペロブスカイト型誘電酸化物還元相光触媒とその製造方法	特許第4649616号
紫外線量測定器	特許第4724809号
膨張化炭素繊維含有複合材料及びその製造方法	特許第4719875号
水素製造用触媒の製造方法	特許第4724860号
カボスジャムの製造方法	特許第4734584号
可変剛性型動吸振装置	特許第4747266号
葉面散布型の硝酸低減剤	特許第4830134号
柚子果皮に由来するNF-κB/Th2亢進抑制剤およびその用途	特許第4803553号
多段接続DC-DCコンバータ	特許第4839468号
直流電源制御装置	特許第4852722号
広帯域多波長光源	特許第4845145号
画像処理装置、画像処理方法および画像処理プログラム	特許第4851251号
コンピュータのコラボトレイ	特許第4872102号
臨床検査値の管理装置、管理方法及び管理プログラム	特許第4872103号
音響インピーダンス及び吸音率の測定方法	特許第4876287号
膨張化炭素繊維およびその製造方法並びに太陽電池	特許第4876288号
タッピングダクタコンバータ	特許第4951772号
高親水性高分子モノマー水溶液による臓器保存方法	特許第4956839号
広帯域多波長光源	特許第5009890号
フォースプレート	特許第5017735号
炭素質材料、その製造方法、薄片化黒鉛の製造方法及び薄片化黒鉛	特許第5048873号
腰部負担軽減具	特許第5061401号
電子伝達体固定化基材	特許第5078405号
長寿命還元型電子伝達体	特許第5078406号
電気供給装置	特許第5177805号
電線用絶縁被覆付スリーブ	特許第5181248号
多成分複合型ゲル化剤	特許第5205626号
波形解析装置、波形解析方法及び波形解析プログラム	特許第5207172号

## ビジネスの創造

ベンチャー企業の設立・育成により、地域産業の創出、共同研究等による製品開発を行っています。平成25年4月現在、大分大学認定のベンチャー企業は2社です。

### 大分大学認定ベンチャー企業一覧

■株式会社ユフリサーチ（2010年起業）  
がん治療における副作用から来る脱毛や肌荒れなどを治療するための医薬部外品に関する研究・開発

■株式会社ゼロテクノ（2001年起業）  
コンクリートの品質確保とコンクリート構造物の耐久性向上及び長寿命化に関する研究・開発



## お問い合わせ一覧

- ◎大分大学をもっと知りたい 097-554-7405 (総務部総務課)
- ◎大分大学を受験したい 097-554-7471 (学生支援部入試課)
- ◎大分大学の学生を採用したい 097-554-7743 (学生支援部学生・キャリア支援課)
- ◎大分大学と共同研究したい 097-554-7969 (産学官連携推進機構)
- ◎医学部附属病院を受診したい 097-549-4411 (医学部代表電話)
- ◎図書館を利用したい  
097-554-7485 図書館 (旦野原キャンパス)  
097-586-5581 医学図書館 (扶間キャンパス)



OITA UNIVERSITY

大分大学ホームページ

<http://www.oita-u.ac.jp/>

 大分大学Facebookページ

<https://www.facebook.com/OITA.Univ>

 大分大学Twitter

<https://twitter.com/OITAuniversity>